

市議会議長が上京

水俣市 訴訟派への援助問題で

水俣病患者家庭互助会訴訟派（渡辺榮藏代表、二十九世帯）は二百万円の運動資金援助を水俣市当局に要求しているが、同問題をめぐって、斎所市議会議長が二十

七日午後二時十八分水俣駅発特急

は上京した。執行部

は「自治法上の建て前などから援

助は無理だ」との態度だったが、

市議会公害対策特別委員会（村上

末記委員長）は患者家庭が徹夜のすわり込みをするなど、同問題が社会問題化しつつあるため、取りあえず、政府の意向を聞くことになった。

上京団は斎所議長のほか、村上

副議長、村上、田中公害対策特別

委員会正副委員長、市からは緒方

総務課長が同行した。